

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果		
		1	2	3
学位論文審査基準	1	○		○
	2	◎		○
	3	◎		
	4			◎
	5		○	◎
	6			

人文科学研究科英語英米文学専攻博士後期課程の学位論文を評価するためのルーブリック

	尺度5 (S) (特に優秀な成績)	尺度4 (A) (優秀な成績)	尺度3 (B) (要求を満たす成績)	尺度2 (C) (合格と認められる最低の成績)	尺度1 (D) (不合格)
研究課題の明確性及び先行研究を踏まえた的確性	研究対象分野における過去の研究史を正確に理解し、これを十分に踏まえた上で発見された研究課題である。また、テーマ設定が極めて明確である。	研究対象分野における過去の研究史を概ね正確に理解し、これを十分に踏まえた上で発見された研究課題である。また、テーマ設定が明確である。	研究対象分野における過去の研究史について一定の理解があり、これを踏まえた上で発見された研究課題である。また、テーマ設定が明確である。	研究対象分野における過去の研究史について多少の理解があり、これを踏まえた上で発見された研究課題である。また、テーマ設定がなされている。	研究対象分野における過去の研究史についての理解が不十分であり、研究課題が研究史を踏まえていない。または、テーマ設定がなされていない。
課題を追求する上で方法論の適切性	問題意識をはっきりとさせた上で、先行研究が網羅的に検討・吟味されている。	問題意識をはっきりとさせた上で、先行研究が概ね検討・吟味されている。	問題意識をはっきりとさせた上で、先行研究がある程度検討・吟味されている。	先行研究がある程度検討・吟味されているが、問題意識がはっきりとしていない。	問題意識がはっきりとしておらず、先行研究の検討・吟味が不十分である。
研究方法及び調査方法の妥当性	自己の研究に関わる重要な文献をすべて参照した上で、的確な引用をし、その出典記載が適切になされている。また、学習院大学における人を対象とする研究の倫理審査規程を遵守している。	自己の研究に関わる重要な文献を概ね参照した上で、的確な引用をし、その出典記載が適切になされている。また、学習院大学における人を対象とする研究の倫理審査規程を遵守している。	自己の研究に関わる重要な文献をある程度参照した上で、的確な引用をし、その出典記載が適切になされている。また、学習院大学における人を対象とする研究の倫理審査規程を遵守している。	自己の研究に関わる重要な文献をある程度参照しているが、引用や出典記載について課題がある。また、学習院大学における人を対象とする研究の倫理審査規程を遵守している。	自己の研究に関わる重要な文献を参照しておらず、引用や出典記載が適切でない。または、学習院大学における人を対象とする研究の倫理審査規程を遵守していない。
結論の妥当性	研究史に鑑み、自分の研究がどういった位置にあるかを明確に示した上で、独自性の極めて高い結論を導き出している。	研究史に鑑み、自分の研究がどういった位置にあるかを明確に示した上で、独自性の高い結論を導き出している。	研究史に鑑み、自分の研究がどういった位置にあるかを示した上で、ある程度の独自性が認められる結論を導き出している。	研究史に鑑み、自分の研究がどういった位置にあるかを示した上で結論を導き出しているが、独自性に課題がある。	研究史に鑑み、自分の研究がどういった位置にあるかを示しておらず、結論に独自性がない。
研究の独創性と研究分野への貢献	従来の研究にない独自の貢献を付け加える極めて高い意義を持っている。	従来の研究にない独自の貢献を付け加える高い意義を持っている。	従来の研究にない独自の貢献を付け加える一定の意義を持っている。	従来の研究にない独自の貢献を付け加える多少の意義を持っている。	従来の研究にない独自の貢献を付け加える意義を持っていない。
その他	言語表現が的確であり、形式と体裁に関する規定が守られている。	言語表現が概ね的確であり、形式と体裁に関する規定が守られている。	言語表現がある程度的確であり、形式と体裁に関する規定が概ね守られている。	言語表現の的確さに課題があり、形式と体裁に関する規定が守られていないところがある。	言語表現が的確でなく、形式と体裁に関する規定が守られていない。